

今年度、平成12年度東海豪雨以降となる台風21号による災害出動がありました。これをはじめとして現在までの防災エキスパート活動内容をお知らせいたします。

三重要請出動の動き

9月29日夕方から降り続いた秋雨前線豪雨（台風21号の影響）は、中部地方に大雨洪水警報を順次発令した。三重県尾鷲市では、時間雨量約130mm/mの記録的な豪雨であった。また、雨量も最大約904mm以上に達した。

30日早朝に国土交通省三河川国道事務所より、雲出川、櫛田川、宮川の三河川堤防の被災状況を点検し、9月30日中に報告するよう、出動依頼があった。

事務局は、30日9時頃、三河川の現状を熟知していると思われるもの6名に対し出動依頼をした。エキスパートは2人ずつの3班編成し、13:00~16:30に現地調査を実施し、被災状況の報告をした。



実施上の課題

1. 会員携帯電話連絡体制の整備
2. デジタルカメラの整備
3. 報告書・写真の整理などの会員研修
4. 移動手手段の確立

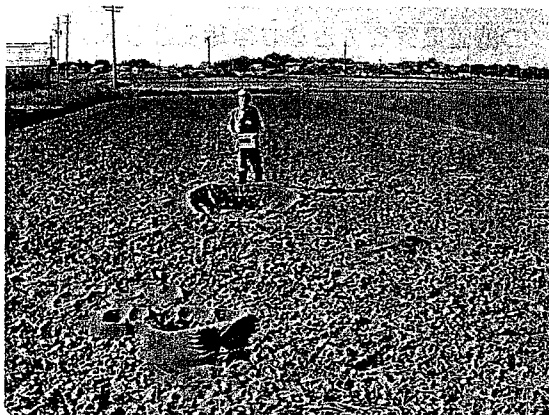
エキスパート感想

9月30日の午前10時頃、中部建設協会三重支所より台風21号の出水における雲出川の被災状況を調査するためエキスパートの活動要請があり、調査方法等の打ち合せのためまず、雲出川出張所へ出動した。

事務所からは今日中に調査結果を聞かせてほしいという要望であり、調査箇所は地元からの被災情報などにより絞られてはいたが、半日で全川巡視するのは困難であるため、事務所職員と区域を分担して調査することとし、エキスパート班は同じく要請のかかった山本秀生さん（丸亀産業）と二人で被災状況調査のため現地へ出発した。

各被災箇所が早急に対策が必要かどうか等を取りまとめて事務所に報告し、エキスパート活動を終了した。

今回は事務所職員と区域を分担し調査したが、できれば次回と一緒に巡視し、私たちの培ってきた経験を現地で意見交換することにより、若い職員の技術向上にも役立つものと思われる。（中根 保）（信藤建設）



お知らせ

防災セミナー開催案内

来る平成17年度防災とボランティア週間中の1月21日に岐阜県岐阜市において防災セミナーを開催します。講演予定は、

岐阜大学流域科学研究センター長 教授 杉戸 真太 氏
財団法人 日本気象協会東海支社 気象予報士 與語 基宏 氏

なお、どなたでも聴講できます。問い合わせは岐阜支所(058)253-6696までご連絡下さい。

国土交通省中部地方整備局 防災対策官

今年は災害の当たり年で、防災エキスパートの皆様の中にもご活躍された方は多いと思いますが、ご苦勞様でございます。また、日頃のご支援ご協力に感謝申し上げます。

中部地整管内も連続して来襲した台風21号、22号、23号により、三重県、静岡県、岐阜県で甚大な被害を受けました。被害は直轄に比べて県市町村施設の被害が大きく、管内での死者・行方不明者は計24名、11/25に激甚災害に指定された台風23号の岐阜県被害額は348億円となっており、国道360号並びにJR高山線は未だ復旧の見通しも付いておりません。また、新潟の中越地震では11/14から約3週間のべ28名の中部地整職員が被災市町村の災害申請のための支援（北陸の防災エキスパートの方々も参加）を実施しました。

これだけ災害の多い年はないとぼやく前に、防災に対する取り組みをチェックする絶好の機会と捉えて「災害に学ぶ」という作業が重要だと考えます。その意味で現在、防災関係のマニュアル類の見直し作業に取りかかったところです。

また、8月の防災セミナーで講演いただいた京都大学防災研究所の河田先生が、①災害時はハイテクよりローテク（人力）、そのためにも顔の見える日頃からの付き合いが大切、②過去の災害では想定できなかったことを想定せよ、もっと想像力を働かせて、③訓練は欠点を見つけ改善するために行うもので、成功させることが目的ではない、と言われておりますが、まさに、あらかじめ決められたことが迅速かつ的確に実行できるかは組織及び個人によるところ

が多く、そのために日頃から訓練や研修を通じて行動をイメージしたり、チェックしたりすることを大切にしないといけないと思います。

今夏のエキスパート研修会に参加させていただいて、事務所・出張所とエキスパートの距離がこのほかに遠いと感じました。いざというときには頼りにさせていただくことは間違いないわけですから、日頃の訓練を通して、双方役割の確認を行うとともにこれまで培った豊富な経験を若手職員に伝授していただくことを事務所の方にもよろしくっておりますので、ぜひお願い申し上げます。

最後に報告が遅れましたが、年度当初から新しくお願いしていた「30分モニター」につきましても、8月末に伝達訓練を実施させていただき、概ね20分程度で情報を取ることができると等有効性も確認することが出来ました。ご協力ありがとうございました。被災者に情報を発信させるのは問題との指摘もあり、こちらから、聞きに行く場合もありますので引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

（木全 俊雄）



今年の防災エキスパートの動き

1. 新規登録者49名に登録書交付

今年度は49名の新規登録者があり、6月29日に登録書交付式が行われました。現在までの登録者は、合計579名となっております。

2. 防災エキスパート地区研修会実施状況

7月に各地で研修会が行われ、愛知118名、岐阜112名、三重59名、静岡56名、長野35名の方が参加されました。

3. 平成16年度防災エキスパート訓練報告

9月1日に中部地方整備局と合同で防災訓練が行われ、53名の方が自発的モニター活動や、依頼による出動で防災訓練を行いました。

4. 遠州地区研修会

12月24日、浜松河川国道事務所管内において国土交通省職員と合同で実践に向けた研修会が行われ、遠州地区の防災エキスパート32名の方が参加されました。

防災エキスパート登録者を随時募集中!

大規模災害発生時には災害情報の収集、伝達が非常に重要となります。

中部地区在住で河川・道路等の整備、管理等のノウハウを持ち、防災エキスパート活動にご協力いただける方は是非申込みをお願いします。

発刊：中部地方防災エキスパート事務局（社）中部建設協会 企画部
名古屋市中区丸の内3-5-10 住友商事丸の内ビルディング8階
TEL052-962-2227 FAX052-962-9083